

2020年度

L 日本史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I . 次の文1～3を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 5世紀のヤマト政権には、須恵器の生産や金属工芸、土木などの新しい技術が渡来人によって伝えられた。また6世紀の（イ）天皇の時には百済の聖明王が仏像や経論などを伝えた。製鉄技術も朝鮮半島から伝えられたと考えられ、6世紀後半には、西日本を中心に鉄生産が本格化した。薬師寺の僧である（ロ）が著した『日本靈異記』に、鉄鉱石が採掘されたことをうかがわせる説話があることなどから、最初期の製鉄は鉄鉱石を原料としたと推定されるが、そのうち、砂鉄が原料として利用されるようになった。

福島県では7世紀後半以降の製鉄遺跡が多数確認されており、製鉄が盛んであったことがわかる。これは律令国家による東北地方の蝦夷対策に応じたものであったと考えられる。また中国地方での製鉄も盛んで、吉備地域から平城京に向けて鉄や銅が貢納された。鉄の貢納に限らず、律令国家のもとで民衆にはさまざまな負担が課せられた。

鉄だけでなく銅も各地で生産された。たとえば、天武天皇時代に鑄造された銅銭である（ハ）に続き、武蔵国から銅が献上されたことを契機に、708年には新たな貨幣が発行された。また天平時代に造立された東大寺の大仏像には、長門国長登銅山で採掘された銅が使用された。

2. 中世になると鉄の生産地は、吉備地域から砂鉄が豊富な山陰や山陽北部に変化した。こうした地域の荘園では、13世紀以降、年貢米を鉄に換算して寺社に納める場合があった。当時の年貢は米だけでなく、鉱産物や林産物、水産物、繊維製品などで納められることがあり、その前提には、中世社会における商工業の発達や商品流通、交通の発展があった。これを支えた要因の1つが銅銭の流通である。ただし11世紀以降、朝廷は貨幣を鑄造しなかった。太政大臣になった平清盛や、13世紀には執権北条氏が実権を握った鎌倉幕府も、自ら貨幣を鑄造することはなかった。その代わり、中国で大量に鑄造された銅銭が日宋貿易などを通じて輸入され、国内で流通した。持明院統の（ニ）天皇を廃して建武の新政を始めた後醍醐天皇が、貨幣の発行を企図したことはあったが、これも実現しなかった。室町幕府も同様に貨幣を発行しなかった。九州探題に任命された（ホ）が南朝勢力を制圧したのち、足利義満は明から日本国王に冊封されて勘合貿易を開始した。これによって銅銭の輸入が促進された。

3. 16世紀になると、金銀鉱山の開発が進み、特に朝鮮から（ヘ）という銀の精錬法

が伝わることで銀の産出額が激増した。日本での（ヘ）は博多商人神谷寿禎が石見大森銀山に伝えたのが始まりとされ、すぐに生野銀山に伝わり、その後各地の銀山に伝播した。石見大森銀山は戦国大名毛利氏にとって重要な経済基盤となるばかりでなく、そののち豊臣秀吉や江戸幕府も直轄地として利用した。こうして17世紀の初頭に日本産出の銀は、世界の銀の産出量の3分の1にあたる約200トンにもおよび、16世紀後半から17世紀前半の東アジアにおける最大の交易品となった。⁸⁾

江戸幕府は貨幣鑄造権を独占して慶長金銀を鑄造したのち、17世紀前半には寛永通宝を大量に鑄造し、全国に広く供給した。17世紀後半になると金銀の産出量が急減する一方、支出は急増したので、幕府財政の窮乏を招いた。長崎貿易での銀の流出を抑制するために1685年には輸入高が制限され、そののち唐船の来航数も制限された。さらに密貿易を抑止するなどのために（ト）を設けて、長崎の町に雑居していた清国人の居住地を限定した。銀に代わって、この頃産出量が多かった銅が長崎貿易における主要な輸出品となったが、さらに18世紀後半になると、田沼意次は長崎貿易の拡大をめざして、（チ）と呼ばれるいりこ、ほしあわび、ふかのひれなどの海産物を（チ）役所を通じて輸出することを奨励した。

17世紀以降、出雲を中心とする中国地方や東北地方で砂鉄を使用した、たたら製鉄が本格化し、これによって備中鍛9)に代表されるような、鉄製農具の改良も進んだ。さらに幕末期には佐賀藩が中国地方で生産された鉄を買い入れ、1850年代に完成させた（リ）でこれを溶解して大砲を製造した。これは幕府の注文を受けて製造されたものである。幕府も江川太郎左衛門に命じて蕪山に（リ）を築かせ、軍事技術の近代化を図った。

A. 文中の空所(イ)～(リ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～9)にそれぞれ対応する次の問1～9に答えよ。

1. 以下に示すのは、この時期に出された倭王武の上表文の一部である。空所〈あ〉にあてはまる語句を漢字5文字でしるせ。

興死して弟武立つ。自ら使持節都督倭・百濟・新羅・任那・加羅・秦韓・慕韓七国諸軍事〈あ〉倭国王と称す。（『宋書』倭国伝、史料は一部改変してある）

2. これに関する次の出来事 a～dのうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
- a. 阿倍比羅夫が秋田・津軽地方の蝦夷を服属させた
 - b. 胆沢城や志波城が造営された
 - c. 蝦夷の首長伊治咎麻呂が反乱を起こした
 - d. 多賀城が築かれた
3. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 寺社や豪族などが行う私出挙の利率は、30%を超えることはなかった
 - b. 雑徭という労役は、衛府のもとで宮城や京を警備することであった
 - c. 租は、最初の収穫を神に捧げる初穂儀礼に起源をもった
 - d. 調・庸は、原則的に諸国にある郡家の正倉に貯蔵された
4. この文化を代表する美術作品として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 興福寺阿修羅像
 - b. 唐招提寺鑑真像
 - c. 東大寺法華堂不空羼索觀音像
 - d. 薬師寺僧形八幡神像
5. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 鶺鴒の集団に属して鮎などを売る大原女が活躍した
 - b. 紙では美濃の美濃紙、越前の杉原紙などが名産として知られた
 - c. 蔵人所を本所とした灯炉供御人は、荏胡麻購入の独占権をもっていた
 - d. 陸奥の金、対馬の銀、薩摩・豊後の硫黄などが採掘された
6. これに関する次の出来事 a～dのうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
- a. 京都に六波羅探題をおいた
 - b. 御成敗式目51カ条を制定した
 - c. 三浦泰村一族を滅ぼした
 - d. 宗尊親王を将軍として迎えた
7. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 日本からの船は、明の皇帝が発行する日字勘合を持参した
 - b. 日本からの輸出品には、刀剣・槍・鎧などの武器・武具類が含まれた
 - c. 博多商人と結んだ宗氏と堺商人と結んだ細川氏が、寧波で衝突した
 - d. 6代将軍足利義教のときに、一時中断された

8. この時期の出来事に関する次の文 i・ii について、その記述の正誤の組み合わせとして正しいのはどれか。下記の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

i. 宣教師によって活字印刷術がもたらされ、ローマ字で印刷されたキリシタン版『平家物語』が出版された

ii. 朝鮮から木製活字が伝えられ、後陽成天皇の勅命で『日本書紀』などの書籍が印刷・刊行された

a. i : 正 ii : 正 b. i : 正 ii : 誤

c. i : 誤 ii : 正 d. i : 誤 ii : 誤

9. この農具の形状の特徴および耕作における利点について、30字以内で説明せよ。

Ⅱ. 次の文1～3を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 現在、第4次産業革命が進行中である。第4次産業革命では、I o T (Internet of Things : モノのインターネット) やビッグデータなどのインターネット上のデータ、高度なコンピュータ技術によるA I (Artificial Intelligence : 人工知能)、高度なハードウェア技術によるロボットといった技術革新によって、生産性や商品・サービスの付加価値が向上する一方で、我々の働き方や生き方に影響があると予測されている。日本では、第1次産業革命は19世紀後半に始まったが、その背景にはそれまでの社会や経済の構造変化があった。

1716年に8代将軍となった徳川吉宗は側用人による側近政治を改め、自ら先頭に立って享保の改革を実施するなか、大坂にある(イ)の米市場を公認して米価の安定を図り¹⁾、また、殖産興業に努めた。10代将軍徳川家治の老中田沼意次も産業振興を進め、経済活動から得られる富を財源とする政策を行ったが、(ロ)の大噴火が天明の飢饉に重なり、各地で打ちこわしや百姓一揆がおきた。これに対して、11代将軍徳川家斉は、白河藩主の松平定信を老中に起用し、改革にあたらせた。松平定信はきびしい儉約令による緊縮財政²⁾を行う一方で、農村の再興や都市の治安対策など積極的な改革政治を行った。他方、幕府は19世紀前半³⁾には対外的危機への対応にも迫られるようになった。文政年間に入ると文政金銀が大量に⁴⁾鑄造されるなどして、全国的な商品生産・流通の発展が刺激された。一般民衆も貨幣経済に深く組み込まれるようになり、関東では荒廃する農村があらわれ、治安も悪化した⁵⁾。こうした内憂外患の危機をむかえて、老中の水野忠邦は徳川吉宗や松平定信にならって改革を進めた。川越・(ハ)・長岡3藩の領知をたがいに入れ換えることを命じたり、上知令を出したりしたが、反対があって進まず、いずれも撤回した。

2. こうして日本の第1次産業革命は、明治時代に入り、政府が富国強兵のため殖産興業を進めるなか、紡績や製糸を中心に始まった。紡績業では、1882年に設立され翌1883年に操業を開始した(ニ)が、蒸気機関を用いる紡績機械を導入して大規模経営を開始した。幕末以来最大の輸出品であった生糸は、国内産の繭を原料とし、貿易赤字を解消するために重要な商品であった。政府は生糸の輸出拡大のために、群馬県に(ホ)という官営模範工場を開設し、士族の子女たちを集めて熟練工を養成した。政府は日清戦争に勝利して得た賠償金をもとに金融・貿易の制度面の整備をはかり、繊維産業を中心として、資本主義が本格的に成立した。

日本の第2次産業革命は日露戦争前後、重工業が発展したころに始まった。日清戦争に勝利した政府は軍備拡張を進め、重工業の確立をめざして、背後に筑豊炭田をひかえる北九州に、1897年、官営（ヘ）を設立し、1901年に操業を開始した。

日本の第2次産業革命は、第一次世界大戦を経て進展し、重化学工業は工業生産額のうち30%を占め、工業生産額は農業生産額を超えるようになった。しかし、大戦景気は続かず、1919年には重化学工業品の輸入が増加したことで貿易は輸入超過に転じた。1920年には株式市場の暴落により戦後恐慌が生じ、綿糸・生糸の相場は半値以下に暴落した。1923年には（ト）により多数の死者が出て、日本経済はさらに大きな打撃を受けた。（ト）の混乱の中で、多くの朝鮮人・中国人が殺傷される事件や、軍隊や憲兵が市民を殺害する事件が起きた。日本経済は1920年代後半から1930年代前半に再三恐慌に見舞われ、それに乗じて産業界では三井・三菱・住友などによる産業支配が進んだ。

3. 日本経済は、第二次世界大戦の敗戦後、GHQによる民主化政策によって、1948年以降は政治的な安定と工業生産能力の向上による復興が進んだ。1950年の朝鮮戦争による特需と世界的な景気回復に後押しされ、1951年には工業生産・実質国民総生産・実質個人消費などは戦前の水準（1934～36年の平均）に回復した。1955～73年にかけて、先進技術の導入と生産性の向上などにより、年平均10%前後の経済成長率を実現した。その中で、終身雇用・年功賃金・労使協調などを特徴とする（チ）が確立した。1970年代初めごろからの電子工学や情報技術などを用いた生産の自動化や効率化が、日本の第3次産業革命とされる。

日本経済は、1970年代後半には5%前後、1980年代前半には3%前後の成長率を維持した。1985年の5か国蔵相・中央銀行総裁会議での（リ）合意により、円高が一気に加速し、輸出産業を中心に不況が深刻化した。しかし、1986年から1991年まで、地価や株価の暴騰をともなう、いわゆる「バブル経済」が進行した。1991年には景気の後退が始まり、1992年には地価も下落に転じ、バブル経済は崩壊し、平成不況に突入した。

1990年代後半から情報通信技術が飛躍的に発達し、アメリカの圧力のもとで規制緩和と市場開放が進み、グローバルな競争が進展している。一方、地球の温暖化や生態系の破壊などが深刻化している。こうした状況において、現在進行している第4次産業革命に遅れを取らないことが、日本の産業界に求められている。

A. 文中の空所(イ)～(リ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部 1)～10)にそれぞれ対応する次の問 1～10に答えよ。

1. これに関する次の文 i・ii について、その記述の正誤の組み合わせとして正しいのはどれか。下記の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
 - i. 司法を合理的に行うため、公事方御定書を制定して判例にもとづく判断を進めた
 - ii. 評定所に目安箱を設けて庶民の意見を聞き、貧民のために小石川養生所を設けた

a. i : 正 ii : 正 b. i : 正 ii : 誤
c. i : 誤 ii : 正 d. i : 誤 ii : 誤
2. この人物に関する次の文 i・ii について、その記述の正誤の組み合わせとして正しいのはどれか。下記の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
 - i. 一橋宗尹の子で、『花月草紙』という自伝を著した
 - ii. 出版統制令を出して、洒落本作者の為永春水を処罰した

a. i : 正 ii : 正 b. i : 正 ii : 誤
c. i : 誤 ii : 正 d. i : 誤 ii : 誤
3. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 相对済し令を出し、札差からの借金を破棄させ、武士・町人に儉約を実行させた
 - b. 江戸の石川島に町会所を設けて七分積金を運用させた
 - c. 旧里帰農令を出し、江戸に流入した農民に帰村を奨励した
 - d. 田畑と収穫量を再調査して、年貢増徴をはかる御料所改革を行った
4. この時期に起きた次の出来事 a～d のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
 - a. アメリカ商船モリソン号が、浦賀沖で砲撃された
 - b. イギリス軍艦フェートン号が、長崎に侵入し、食料などを強要して退去した
 - c. ロシア軍艦艦長グローウニンらが、国後で捕らえられた
 - d. ロシア使節レザノフが、長崎に来航し、通商を要求した
5. この復興に取り組んだ人物のひとりで、下総国香取郡長部村に住み、幕府の嫌疑を受けて自殺したのは誰か。その名をしるせ。

6. これを進めた工部省が中心となつて行つたことではないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 蝦夷地を北海道と改称して開拓使をおき、アメリカ式の大農場制度・畜産技術の移植をはかり、クラークを招いて札幌農学校を開校した
 - b. 旧幕府の経営していた佐渡・生野などの鉱山や長崎造船所、旧藩営の高島・三池などの炭鉱や兵庫造船所を接収し、官営事業として経営した
 - c. 軍備の近代化を担う軍工廠として東京と大阪に砲兵工廠を開き、旧幕府が設けた横須賀造船所の拡充に力を入れた
 - d. 新橋・横浜間、ついで神戸・大阪・京都間に鉄道を敷設し、開港場と大都市を結びつけた
7. この間に、自然科学分野での独自の研究を進める施設として、欧米諸国に対抗し得る研究を行うことを目的に、財界からの寄付金、国庫補助、皇室下賜金によって設立された機関の名をしるせ。
8. この時期に起きた次の出来事 a～d のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
- a. 自衛隊の海外派遣を可能にした P K O 協力法の成立
 - b. 衆議院に小選挙区比例代表並立制を導入
 - c. 鳩山由紀夫が組閣した民主党政権の誕生
 - d. 東日本大震災における東京電力福島第一原子力発電所の事故
9. この時期に起きた出来事に関する次の文 i・ii について、その記述の正誤の組み合わせとして正しいのはどれか。下記の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- i. 1997年に北海道拓殖銀行と山一証券が破綻した
 - ii. 1998年に日本の失業率が 4 % を超えた
- a. i : 正 ii : 正 b. i : 正 ii : 誤
 - c. i : 誤 ii : 正 d. i : 誤 ii : 誤
10. これに関して、1997年に採択され、先進国の温室効果ガスの排出削減目標を具体的に定めたのは何か。その名をしるせ。

【以下余白】

